

2008.7.10

第23号

いにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1 あと会広報事業部
TEL (082) 856-0222
<http://www.kunikusa.or.jp/>

題字 升味 美佐子様



業務提携調印式

提携内容

1. スウェーデン・リンデシュベリ市より、現場指導者を年2回、あと会へ派遣する。
 2. あと会より、リンデシュベリ市へ年2回、職員を2名程度派遣する。(1回につき2週間程度)

平成20年4月7日 社会福祉法人あと会とスウェーデン・リンデシユベリイ市との間で、現場スタッフの相互の人材交流を目的とした、契約を締結致しました。契約締結にあたっては、先方リンクデシユベリイ市よりアンデス・ラールセン市長を始めとして4名の幹部職員に来日いただき、交流を深めたところでございます。

『福祉は人なり』と申します。

これまであと会では、スウェーデンから多くの専門職をお迎えし、様々な現場改革を通じて活かして参りました。これからは、あと会から現場スタッフをスウェーデンに定期的に派遣し、枠にとらわれない国際感覚豊かな人材の育成に努めて参ります。

スウェーデン・
リンデシユベリイ市と
相互に職員留学

特別養護老人ホームくにくさ苑

介護職 瀬戸川 裕介

- ①スウェーデンのケアを実際に見て、感じたいと思っていた事と、技術・知識を持ち帰り、現場の皆で共有し、より良いケアをご利用者に提供したいと思ったからです。

②人がやさしく、明るく、温かいと感じました。そして、なにより自然が最高!!でした。広い空、森、湖全てが美しかったです。

③コンタクトマンの在り方。休日しっかり遊んでリフレッシュして仕事をする事。言葉は通じてなくても心は通じる。出会った人みんなの笑顔でした。

④仕事も休日も、毎日が刺激的でした。ホームステイ先のパパとママは、温かく、おもしろい人でした。しかも二人共料理上手でおいしかったので、日本食が恋しくて、枕を濡らした夜は一度もありませんでした。



介護老人保健施設ふかわ・くにくさ

作業療法十 野村 直伸

- ①志望動機は当施設がスウェーデン様式を取り入れているということ、世界的に福祉先進国であるということから実際に体験してみたいということでした。

②リンデシュベリイはその行政範囲が非常に広く、ミッドタウンを中心に郊外に各集落(10から20くらいの家)が数箇所あり、湖と林が多く自然に恵まれた市でした。福祉分野においても比較的恵まれているという印象でした。

③研修では、ゆっくりとした時間・充分な他職種間との係わり・利用者との時間をかけた係わりが、利用者にもスタッフにも良い環境をもたらすということを得ることができました。

④生活はホストファミリーや職場のスタッフが暖かく迎えてくれたこともあり快適に過ごすことができました。



**研修に行かれた方々に
聞いてみました。**

質問項目

- ①志望動機
 - ②リンデシュベリイ市の印象
 - ③研修で得た物
 - ④生活はどうだったか?



特別養護老人ホームくにくさ苑

介護職リーダー 高山 知代

- ①私の志望動機は、くにくさでスウェーデンケアの研修を受け、以前からスウェーデンケアをこの目で見て体験したいと思ったからです。

②リンデシュベリイはとても自然が多く、ゆっくりと時間が流れる街でした。

③今回の研修では、言葉が通じなくても同じ思いで、ケアを行えば気持ちちは自然と通じてくるのだと実感しました。

④スウェーデンでの生活は、なかなか通じない言葉、慣れないフォーク&ナイフ、日本とは違う食生活、足の届かない自転車（自転車通勤でした）に大変だった事もありましたが、ホストファミリーが家族の一員のように受け入れてくださいり、実習先の人は、仲間のように暖かく接して下さいましたので、楽しく充実した生活が送れました。私は、この貴重な体験ができ、大変嬉しく思いました。



